

歩行支援機 **ACSIVE** 片脚用  
取扱説明書

保証書付き



この取扱説明書は、ご使用前にご利用者が必ずよくお読みください。また、いつも身近において、分からないことがありましたらこの取扱説明書をお読みください。

# はじめに

## ●ごあいさつ●

この度は、歩行支援機 ACSIVEをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、正しい取り扱いについて記載してあります。ご使用前にご利用者が必ずよくお読みください。

ACSIVEを安全にご使用いただき、皆様の日常生活のお役に立てることを願っております。

## ●お願い●

品質改良のためお手元の製品とこの取扱説明書の内容・イラストの一部が異なる場合がありますのでご了承ください。

## ●ACSIVEについて●

本製品は、国立大学法人名古屋工業大学と株式会社今仙技術研究所が共同開発しました。

# 目次

---

	項 目 ・ 内 容	頁数
1	安全のために	2
2	各部の名称	3
3	基本的注意事項	6
4	装着前の組み立て・点検	8
5	装着の仕方	11
6	手入れの仕方	13
7	外観図	14
8	保証書	15

# 1 安全のために





ACSIVEを安全にご使用いただくためには、正しい操作と定期的な点検が必要です。

この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまでにご使用にならないでください。

本機は、歩行支援を使用目的につくられています。

この取扱説明書に示されている操作方法や安全に関する注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合の責任は、負いかねますのでご注意ください。

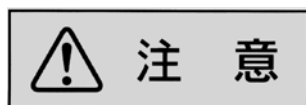
この取扱説明書には、ご使用に際して特に重要な案内事項を  危険  警告  注意  のマークを使用して表現してあります。これらのマークにより表現された内容は、以下の意味を持ちますので特に注意してください。



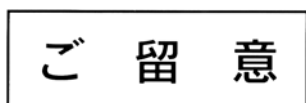
その指示に従わなかった場合、重傷を負うことになるものを示します。



その指示に従わなかった場合、重傷を負う恐れのあるものを示します。



その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるものを示します。




その指示に従わなかった場合、本機が壊れる恐れのあるものを示します。

尚、上記分類においては

重傷：失明・けが・火傷（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院・長期の通院を要するもの。

軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないもの。  
（上記重傷以外）

物的損害：家屋や家財及び家畜・ペットにかかわる損害など。  
ただし、ACSIVE自体のみの損害（自損）は含まれない。また、 欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く場合があります。  
いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

# 2 各部の名称

## 部品の確認

### ●内容物のチェック



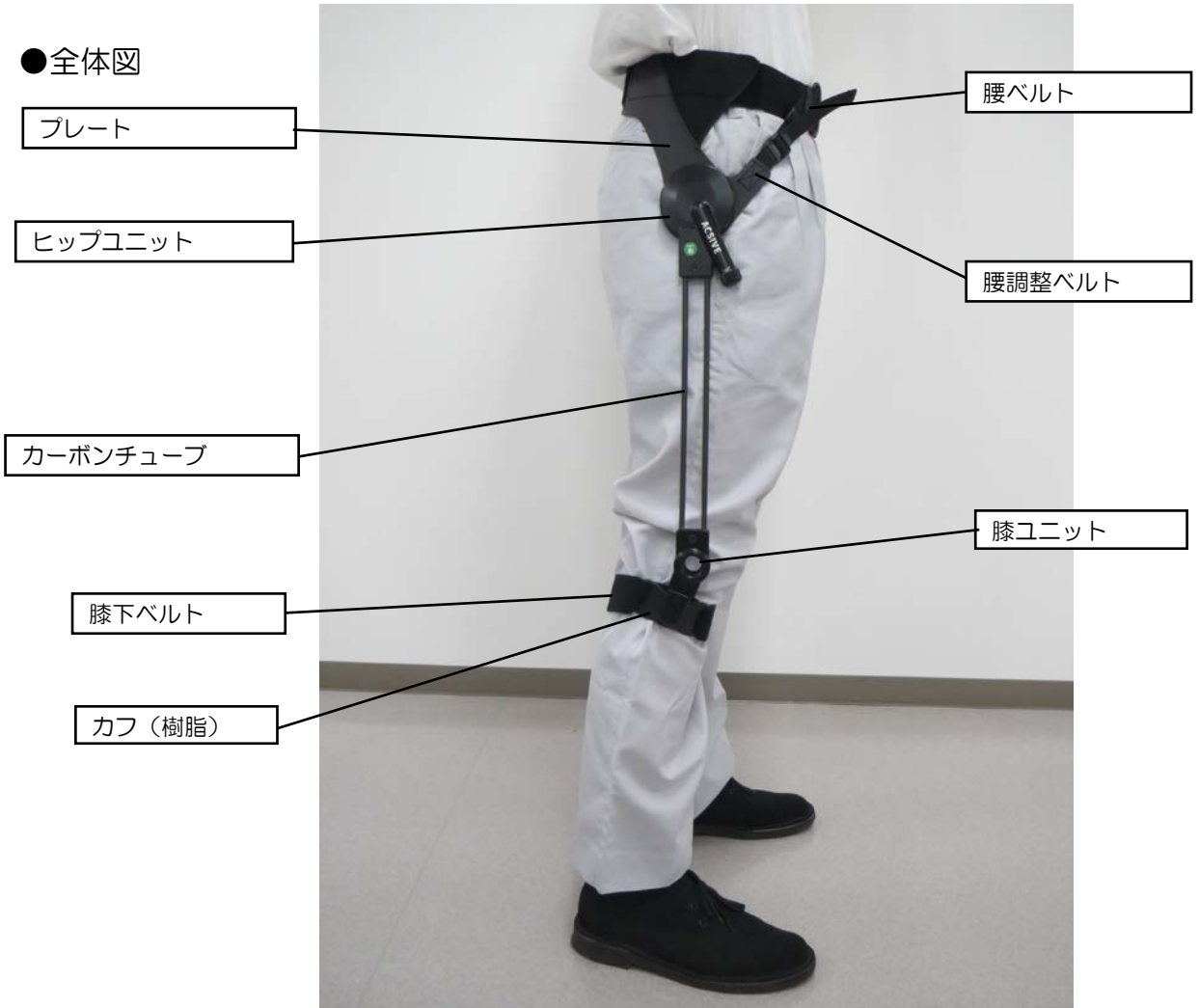
セット品内容 左から

- カーボンチューブ（中） と 膝ユニット
- カーボンチューブ（長）（短） 各2本
- 付属工具 六角レンチ（3mm）
- カフ（樹脂） と 膝下ベルト（内）
- 膝下ベルト（外）
- 腰ユニット と 腰ベルト

- ・その他、本書（取扱説明書）が入っています。
- ・万が一、部品が足りない場合は、販売店又は当社へご連絡ください。

# 各部の名称

## ●全体図



写真は右脚用です

# 各部の名称

## ●ヒップユニット



ダイヤルヘッド



ダイヤルヘッドでバネのアシスト力を調整ができます。

- ・時計回りに回すと、強くなります。
- ・反時計回りに回すと、弱くなります。

出荷時は、1と2の真ん中に設定しております。  
アシスト力を1より弱めすぎますとダイヤルヘッドとバネが脱落することがあります。ご注意ください。



裏面に製造番号シールが貼っています。  
Ser# の後の数字です。

# 3 基本的注意事項

1. ACSIVEを安全にご使用いただくため、下記の注意事項を必ずお守りください。

## 警告

下記症状の方は使用しないでください。

(ACSIVEには、足首や膝、体重を支える機能はございません。)

- 安全に自立歩行ができない方。

転倒の危険のある方は、別途転倒防止をしてください。

ご使用にあたっては、医師やリハビリの専門家にご相談の上、ご検討して頂くことをお勧めしております。

## 警告

- 本製品を装着中に身体に発赤、痛み等の異常や違和感が生じた場合は、直ちに医師の指導を受けてください。
- 押しつぶす・引っ張る・引き剥がす等実際の使用で発生する以外の力をかけないでください。破損の原因となります。
- 椅子や車椅子などに着席または立ち上がる際に、ひじ掛けなどにカーボンチューブを引っ掛けない様にご注意ください。安全上、カーボンチューブに一定以上の力が掛かりますと折れる様に設計されております。
- 歩行中は、本製品をぶつけたり引っ掛けたりしない様にご注意ください。破損の原因となります。
- 水のかかる状況や浴室での使用はしないでください。防水機能はございません。破損の原因となります。
- 就寝時は、本製品を装着しないでください。破損の原因となります。
- 本製品を装着して、自転車や自動車など機械の運転はしないでください。
- カーボンチューブや各ベルトのサイズ、歩行支援機の角度や可動域が、ご使用者の身体状況にあっているか確認してください。
- 左右を確認してください。装着間違いをしないでください。
- 滑りやすい場所では使用しないでください。
- カーボンチューブの隙間に指などを入れないでください。
- 本製品を無断で修理、改造をしないでください。



# 基本的注意事項

---

## 2. 装着の際に、ご注意ください。

### 注意

- 各ベルトは、適切に締め付けてください。締め付け不足によりACSIVEがずり落ちたり、締め付け過ぎによりうっ血する場合があります。また、長時間締め付ける事により、汗疹、かぶれる場合があります。
- 腰ベルトの装着時に、バックルに指などを挟んだりして傷つける場合がありますので、取扱いにはご注意ください。

## 3. その他、以下のことにご注意ください。

### 注意

- 落としたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。破損する恐れがあります。
- 洗濯・水洗い等を行わないでください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内に長時間放置したり熱器具（ストーブ等）の付近での使用や保管は避けてください。熱により変色や変形する恐れがあります。万が一、変色や変形が生じた場合は、直ちに販売店までご連絡ください。

# 4 装着前の組み立て・点検

## 事前準備

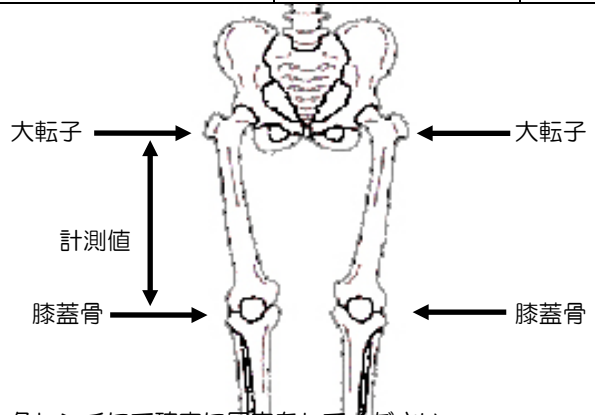
- ・ご使用者の足の長さに合わせて、カーボンチューブを選択します。  
大転子と膝蓋骨（膝の皿）の中心の寸法を計測します。その長さから30mm引いた寸法が基準の長さになります。ヒップユニットの中心と膝ユニットの中心の長さが、基準の長さになるように調整してください。  
なお、カーボンチューブはヒップユニットに35mm差し込めますが、20mmまでスライドして伸ばして調整ができます。膝ユニットには20mm差し込めますが、スライドせず奥まで入れてください。  
ぴったりの寸法がない場合は、短めの方に合わせてください。
- ・カーボンチューブをカットして短くすることで、お子様や小柄の方へ対応できる場合があります。

カーボンチューブ対応表

大転子から膝蓋骨の中心の長さ-30mm 調整範囲	カーボンチューブ 種類	カーボンチューブ 長さ	参考 身長
300~320	短	230	150 cm~
330~350	中	260	160 cm~
370~390	長	300	170 cm~

### 参考

- ・大転子とは  
大腿骨の外側の出っ張りを大転子といいます。



## 組み立て

- ・ヒップユニットにカーボンチューブを差し込み、六角レンチにて確実に固定をしてください。  
ヒップユニットと膝ユニットをねじっても、元に戻ることをご確認ください。（締め付けトルクは、5N・mです）



## 装着前の組み立て・点検

カフを膝ユニットに取り付けます。

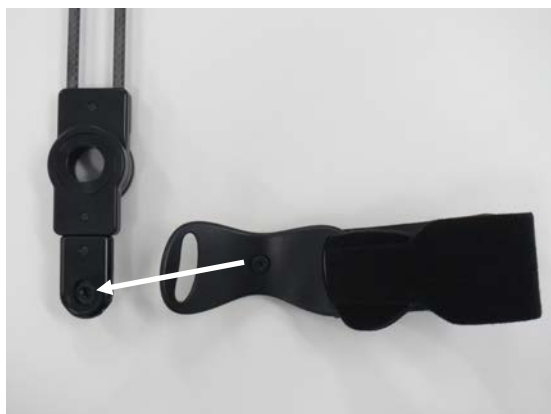
- ①カフには上下の方向があります。  
上部と下部の幅が違います。  
狭い方を上に設定をしてください。



- ②膝下ベルトの片側を、カフから外します。  
カフの膝下ベルトを通す穴よりも膝下ベルトの幅が少し広がっています。膝下ベルトを半分に折り曲げてから引き出すと膝下ベルトがきれいに外せます。



- ③膝下ベルトの片側を外すと、カフの真ん中に六角穴付皿ボルトが見えます。  
ボルトを膝ユニットのねじ穴部に差し込みます。



- ④六角レンチにて確実に固定をしてください。  
(締め付けトルクは、5N・mです)  
膝下ベルトを元に戻してください。





六角レンチにてネジを緩めるとカフステー（アルミ）をスライドすることができます。調整後は確実に固定をしてください。（締め付けトルクは、5N・mです）

カフステー（アルミ）と膝ユニットすき間を空けると、膝下ベルトが膝下によりぴったりと装着しやすくなります。（すき間は、10mmまでの範囲で調整をしてください）

## 点検

- 各部に変形や変色、破損はないか
- 各部のネジはゆるんでいないか
- 各部のベルトに異常はないか
- ヒップユニットの動きはスムーズか

### ⚠ 注意

- パイプサイズやベルトサイズが合っていないと、関節部にあるはずの各部品が適切な場所に合わずにアシスト力が発揮できません。

### ⚠ 注意

- 本製品の装着前に必ず左記の点検を行ってください。万一、異常を発見した場合は使用を中止し、直ちに販売店までご連絡ください。
- ベルト類は消耗品ですので、摩耗や損傷が見られた際は、販売店までご連絡ください。

故障であると思われる場合は、保証書の製造番号と合わせて販売店にご連絡ください。

# 5 装着の仕方

バネのアシスト力は弱い力から適切な力へ調整をしてください。アシスト力が強いと歩行のバランスが崩れたり、ベルトがずれ易くなります。

## 装着手順

- 腰ベルトを骨盤にあわせてバックルをロックして腰ベルトを締めます。

### 重要

- しっかり固定ができる骨盤周辺で固定をしてください。締め方が緩いとアシスト力が発揮できません。腰ベルトがずれ易くなります。また、腰ベルトが前傾しているとバネのアシスト力は効きにくくなります。

- ヒップユニットは、腰ベルトにマジックテープで固定されていますので前後調整ができます。ヒップユニットの広い面が、進行方向と平行になる様に調整をしてください。

- 腰調整ベルトが緩んでいましたら締めてください。脚を後方に引いた時に生じるバネの反力により、ヒップユニットの位置がずれないようにご確認ください。

- 膝下ベルトを固定してください。

幅広のベルトを脚に沿わせて押さえ、幅狭のベルト後ろから前に回し、マジックテープで固定してください。幅広のベルトは、オスの面が外側になります。衣服などに張り付かない様にご確認ください。



# 装着の仕方

## 重要

- 膝ユニットの中心の位置が、膝蓋骨（膝の皿）の中心より20～30mm上の位置になる様に設定してください。
- \* 膝ユニットの位置が、膝関節よりも下にある場合は、アシストの効果は実感できません。歩行がしにくくなる場合があります。
- \* バネのアシスト力やベルトの位置を再調整する場合は、膝下ベルトを外して行ってください。バネの反力が効いていると調整が適切にできません。
- 膝ユニットを外して、ベルトを膝上で固定する事もできます。



## 装着後のチェック

- 各ベルトは、適切に締め付けられていますか
- 膝ユニットは、適切な位置に装着されていますか
- ヒップユニットは、適切な方向に装着されていますか
- 歩いたとき、自然にひざが曲がりますか
- カフはふくらはぎで違和感なく固定されていますか
- 歩いたとき、ヒップユニットはズレませんか

※ACSIVEの組み付けと装着動画を作成し、youtubeに、掲載させて頂きました。

組み付け方法は <https://youtu.be/4Zv0OrhncJ8> 装着方法は <https://youtu.be/tj91fjLwTd8> にございます。



販売店様の組み立てや装着のご確認だけでなく、ご紹介される時の資料としてご活用頂いたり、ご使用者様にご説明される場合や使用時にご装着される場合などに、ご活用頂けますと幸いです。

# 6 手入れの仕方

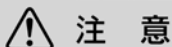
## 1. 保管上の注意

ACSIVEは次のような場所に保管致しますと故障の原因となります。次のような場所は避けて保管してください。

- 水等のかかる場所 ●湿気の多い場所
- 火気の近く等、高温になる場所 ●直射日光のあたる場所
- 砂・ほこりの多い場所

## 2. その他の手入れ

ACSIVEはが濡れたり汗をかいたりしたときは、風通しの良いところで陰干しをして、よく乾かしてください。マジックテープの粘着力が低下している場合は、安全のため交換が必要となりますので、販売店までご連絡ください。なお、毛玉等が付着した場合は、つまようじなどをマジックテープの表面に滑らせて取り除いてください。



ACSIVEは、水洗いは絶対にやめてください。

※水等に濡らすと錆や故障の原因となります。濡れた場合は、乾いた柔らかい布等で拭いてください。

※ガソリン・シンナー・ワックス等で拭かないでください。

- 柔らかい布等で汚れを落としてください。
- 汚れのひどい所は、中性洗剤を柔らかい布等にしみ込ませて、ふき取ってください。

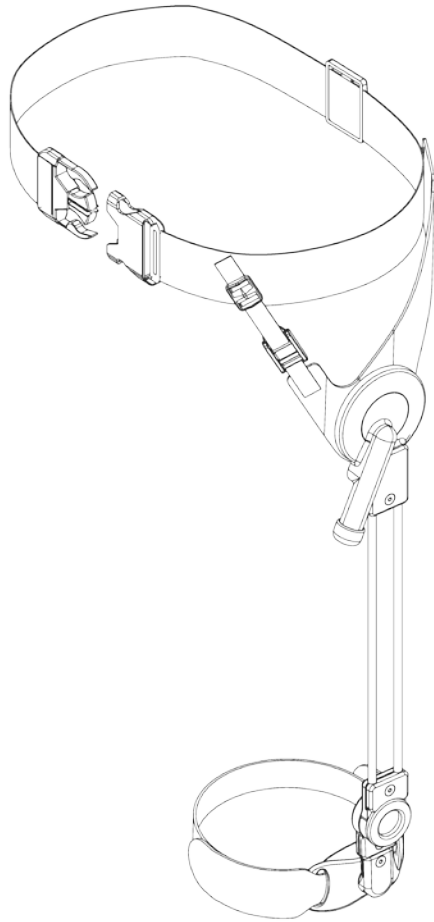
※部品交換時は、必ず純正部品を使用してください。

※各部のネジがゆるんでいないか、定期的に点検を行ってください。

# 7 外觀圖

---

圖は左用







# 保証書

## 保証書

この度はイマセン歩行支援機AC S I V Eをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お買い上げいただきました製品につきまして不具合がおきた場合、本書に明示する期間と条件のもとに無料で修理させていただくことを保証します。

### 記

保証期間 納入日から起算して満1ヵ年とする。

1. 保証内容 保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、製造上の不具合があらわれ、弊社がこの不具合を認めた場合に限り、これを無料で修理いたします。修理は部品の交換あるいは補修により行います。取外した部品は弊社の所有となります。
2. 適用除外 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。
  - (1) 経時劣化により発生する不具合（塗装、メッキ面などのさび、プラスチックなどの自然退色等）
  - (2) 機能上影響のない軽微な不具合および感覚的現象（音、振動、グリスのにじみ等）
  - (3) 天災、事故および火災など付加抗力による不具合。
  - (4) 煤煙、薬品、鳥糞、塩害などによる不具合。
  - (5) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備に起因する不具合。
  - (6) 弊社が規定する使用以外の使用に起因する不具合。
  - (7) 弊社が規定する仕様の限度を越える使用に起因する不具合。
  - (8) 弊社が認めない改造変更に起因する不具合。
  - (9) 弊社純正部品以外の部品の使用に起因する不具合。
  - (10) お買い上げの販売店以外で修理され、不具合が生じた場合。
  - (11) 故障判断資料の不十分なものおよび損傷部分を紛失された場合。
  - (12) 消耗部品および油脂類（プラスチックカバー、ボルト、ナット類、その他上記に類する部品およびゴム製品等）
  - (13) 保証書に販売店の押印のない場合。
3. 保証修理の受け方  
保証修理をお受けになる場合は、歩行支援機とこの保証書をお買い上げの販売店へお持ちください。これにより保証修理をいたします。
4. 保証の適用  
この保証書は、日本国内で販売し使用される歩行支援機にのみ適用いたします。したがって海外へ持ち出される場合は、その時点で保証が打ち切りになります。以上

製造元 株式会社今仙技術研究所

型式名	ACSIVE	製品番号	
納入年月日	西暦	年	月 日
ご使用者	ご住所 〒		TEL
	お名前		
販売店	住所 店名 TEL		印





お問い合わせは



株式会社 今仙技術研究所

〒509-0109

電話 (058)379-2744

FAX (058)379-2743

2015年11月改版

2015年10月改版

2015年 6月改版

2014年11月改版

2014年 9月発行